

8月号

食育目標

「楽しく食べる子どもに」

〇みんなで楽しく食事をしましょう

- 〇バランスよく食事をしましょう
- ○食事マナーを身につけましょう
- ○3食きちんと食べましょう
- ○感謝の気持ちを持ちましょう



冷たいスイカのおいしい季節となりました。夏は、楽しいイベントがたくさんありますね。 山や海に出かけたり、花火を見たり、盆踊りを踊ったり、お盆を故郷で迎えたり・・・と 家族で過ごす機会も多いことでしょう。夏ならではの思い出をたくさん作りましょう。











夏野菜を食べよう!

夏野菜にはきゅうり、なす、トマト、ピーマン、かぼちゃなどたくさんの種類があり ます。夏バテ防止に役立つ野菜が多いのも特徴です。

- ●赤色の夏野菜・・・紫外線から肌を守り、血圧を下げます。消化促進 疲労回復に働きます。
- ●緑色の夏野菜・・・利尿や発汗を促し、体の調子を 整えて、むくみを解消します。
- ●紫色の夏野菜・・・眼の疲れを防ぎ体のほてりや 炎症を鎮める効果があります。







水分補給で熱中症予防を

熱中症は、夏の強い陽ざしの下での激しい運動や作業中だけでなく、 室内で起こる事もあります。この時期は、汗をかくことを意識して 水分をとる様に心掛けましょう。喉の渇きを感じなくても、こまめ な水分補給が重要です。すぐに飲めるように常にそばに置いておく のも良いですね。また、扇風機やエアコンで室内温度を管理するな ど、環境への注意も大切です。食事には、汁物や水分の多い野菜・ 果物を積極的にとりいれましょう。











「精進」という言葉は、宗教的な意味で身を 清める修行に励むことをいいます。精進料理 は、肉や魚(動物性たんぱく質)を使わず、 穀類・豆腐・野菜などの食材だけで素材の味 を生かした料理をいいます。ビタミン・ミネ ラル・食物繊維など、ふだんは不足しがちな 栄養が多く含まれ、生活習慣病の予防にも役 立ちます。お盆は、先祖や亡くなられた人た ちの霊をまつる行事ですが、その内容は地方 の風習や宗派によってさまざまです。





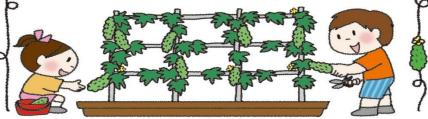
にがうり(ゴーヤ)

おいしい時期 6~9月

肝機能を高め、血糖値の改善も!

にがうりは熟す前の未熟果を食べます。独特の苦味が あるのが特徴ですが、この苦味をモモルデシンといい、 胃液の分泌を促し食欲を増進させるだけでなく、肝機能 を高め、血糖値の降下にも効果があるといわれていま す。

全体的に鮮やかな緑色で、黄色く変色しておらず、重み のある物、イボにつやがあり、しっかりしている物、黒 ずんだり、つぶれたりしていない物を選びましょう。



カルピスシャーベット



【材料】(1人分)

- *カルピス・・・20g
- * 牛乳···40g
- *みかん缶···8g
- *ベリーMIX・・・6g

【作り方】

①みかん缶とMIXベリーを一口大に切る。

- ②カルピスに牛乳を加え①を合わせ、フリーザーバッグに入れる。
- 32を冷凍庫で3~4時間凍らせる。
- 4) 凍ったら、フリーザーバッグをもみ、程よくシャリシャリになったら 器に盛りつける。







5月からにじ組さん、そら組さんには毎月 「おにぎり作りの日」を決め、おにぎりを にぎる練習をしています。初めはペちゃんこ やまん丸のおにぎりができていましたが、 最近は子ども達もずいぶんとコツをつかん できた様です。上手ににぎれる様になった ら、他のクラスにも食べてもらう予定です♪ 夏休みやお弁当の日など、ご家庭でも練習に 子ども達におにぎりをにぎってもらってみ てください!









































